

## ●株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日  
期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日

株主名簿管理人<sup>(※1)</sup> 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社

特別口座の  
口座管理機関 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。<sup>(※2)</sup>

公告方法 電子公告の方法により行います。

ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞(東京)に掲載します。

公告掲載URL <http://www.taxan.co.jp/>

## ●住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

## ●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

(お知らせ)

(※1) 当社の株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社は、関係当局の許認可を前提に、住友信託銀行株式会社、中央三井アセット信託銀行株式会社と平成24年4月1日をもって合併し、「三井住友信託銀行株式会社」となります。なお、平成24年4月1日(日)は、株主名簿管理人の休業日につき、実際のお取扱いは、平成24年4月2日(月)からとなります。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

特別口座の 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先・電話照会先  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(住所、電話番号の変更はございません)

(※2) 日本証券代行株式会社による取次事務につきましては、平成24年3月末日をもって終了させていただきます。



《虹をかける舟》

### 表紙・絵 宮坂 健 Ken Miyasaka

惑星地球は地平の彼方にある。タイトル通り舟は虹をかけながらゆっくりと進む。静かで温かく、懐かしい世界、いつか訪れたい世界、地球に架かっている大きな輪には既視感がある。遠い遠い昔、地球には土星の様な大きな輪があったのではないか...これをどこかで見ていたようにも思う

作者略歴：1949年生まれ  
安井賞展  
浅井忠記念賞展  
セントラル油画大賞展  
日本青年画家展等  
個展：日本橋三越等  
著書：『地球、旅の記憶』

# Kaga Electronics Group Report



宮坂 健《虹をかける舟》

## 第44期 中間グループ報告書

平成23年4月1日 - 平成23年9月30日

人、未来、エレクトロニクス...  
**加賀電子株式会社**

東証一部：証券コード 8154

## KAGA ELECTRONICS CO.,LTD.

〒101-8629 東京都千代田区外神田三丁目12番8号 住友不動産秋葉原ビル  
TEL.03-4455-3111 (代) FAX.03-3254-7131  
<http://www.taxan.co.jp/>  
東証一部：証券コード 8154



JISQ 14001:1996 登録番号 JSAE594

# What's KAGAism

●加賀電子グループの行動指針

## ■経営理念 **すべてはお客様のために**

加賀電子グループは、創業以来「すべてはお客様のために」という想いを胸に、電子部品の調達を事業の原点として、お客様のご要望にお応えしながら事業領域を拡大してまいりました。私たちは、今後も行動指針である「F.Y.T.」「3G」の精神に則り、エレクトロニクス業界の発展に貢献してまいります。

### 加賀電子グループの行動指針

**F.Y.T.**  
[ファイト]

**Flexibility  
Young  
Try**

柔軟性を持って  
心の若さを持って  
絶えず挑戦

**3G**

**General  
Global  
Group**  
あらゆるものを  
全世界で  
総合力を活かして

#### ●電子部品事業

世界最高水準の部品を国内外から調達するだけでなく、多品種・小ロットでも対応できるフレキシブルな生産体制で、半完成品から完成品まで提供するなど、お客様のご要望に合わせたソリューションを提供しております。



#### ●情報機器事業

国内外の有名ブランドPCや周辺機器の販売から、電気通信工事を含めたシステム構築までのネットワークソリューションを、ワンストップサービスで提供しております。



### エレクトロニクスに関する あらゆるニーズにお応えします

部品を集めて  
欲しい

開発設計をして  
欲しい

組み立てをして  
欲しい

製品を販売して  
欲しい

#### ●ソフトウェア事業

エンターテインメントの世界を広げる高精度なコンピュータグラフィックスの作成やゲームソフトの制作、アミューズメント機器用の画像表示関連装置などのハードウェアやその中で使われるソフトウェアの開発しております。



©2007-2011 天野善孝 / DML・[N.Y. SALAD]パートナーズ

#### ●その他事業 (エレクトロニクスから派生する事業)

エレクトロニクス機器の修理・サポート、アミューズメント機器やスポーツ用品の販売など幅広い事業内容でお客様の多様なニーズにお応えします。



# Top Interview

●トップインタビュー

## 新しいことに挑戦し、 それを確実にビジネスに結びつける。

付加価値を高め、さらなる成長を目指してまいります。



代表取締役会長  
塚本 勲

代表取締役社長  
塚本 外茂久

加賀電子グループ全体の中間期業績と今後について、塚本勲会長と塚本外茂久社長に話を聞きました。

Q 当中間期の業績についてお聞かせください。

A 期の前半は震災の影響を受けましたが、7月以降は顧客の需要回復により、連結業績は、当初の計画を上回る結果となりました。

社長 / 当中間期（平成23年4月1日から9月30日まで）のスタート時には、3月11日の東日本大震災の影響による生産調整や消費減速などを懸念しておりましたが、エレクトロニクス業界は予想より早く復旧が進み、7月以降は、一部を除き顧客企業の需要が回復し、予想以上の受注を獲得することができました。その結果、当中間期の連結業績は、売上高116,271百万円（前年同期比3.5%減）、営業利益805百万円（同68.9%減）、経常利益929百万円（同64.9%減）、四半期純利益321百万円（同77.2%減）と、おかげさまで当初の計画を上回る結果を残すことができました。

中でも好調だったのが環境関連ビジネスで、LED照明やLEDチップ等のご注文を多数いただいております。以前は関心が高く引き合いはあるものの、本格的導入には至らなかったのですが、震災後の電力不足や節電対策で、照明設備を全面的にLED照明に変えるという動きが加速

※本書におけるP2~4では、インタビューならではの口語調を活かすため「中間期」と記し、P5以降については「第2四半期」と表記しております。



しております。同時に空調を制御する省エネシステムや太陽光発電システムの引き合いも相当数いただきました。現在は、まだ業績に結びついてきていませんが、今下期に期待するところであります。

**会長**／期せずして、震災後、当社グループの環境関連ビジネスを急拡大することができたのは、3年ほど前から専門チームを作り、このビジネスに注力してきたためだと思っております。

多面的にいろいろな事業に携わり、次に来るものは何かという時代の声をいち早くキャッチし、動いている成果の表れだと思っております。

**Q** 当中間期の海外展開についてお話しください。

**A** 次のステージへ向かうべく、インドをはじめシンガポールを拠点としたASEAN地域でもビジネスを開始しました。

**社長**／既にリリースにてお知らせした通り、本年7月にインドのIT産業の集積地バンガロール市に現地法人「KAGA DEVICES INDIA PVT. LTD.」を設立しました。インドは世界的にも成長市場として注目され、電子部品の需要も相当あるものと期待しております。まずは電気メーカーに冷蔵庫、洗濯機、エアコンなどの生活家電に向けた半導体の販売を行い、これを機に、当社グループが提供する幅広い部品を、電気メーカーのみならず、様々な業種のローカル企業への供給につ

なげられるようお客様とコミュニケーションを図りながら営業展開してまいります。

インドには、日本をはじめ海外の同業他社も販売会社を設立しておりますが、当社グループは、お客様が必要とされるものは川上から川下までお応えでき、ものづくりのお手伝いもできるという独自の強みを持っていると自負しております。また、当社グループでは既にインドのビジネスパートナーとプロジェクターを販売するための合弁会社をドバイに設立しており、今後、ドバイを中心に中東およびアフリカにも進出するための体制を整えてまいります。これまで培ってきた経験と人脈を生かし、インドでの事業拡大を目指していきたいと考えております。

**会長**／この他、加賀アミューズメント(株)の子会社をマレーシアに設立する予定で準備を進めております。すでに大手ショッピングセンター内のゲームコーナーに設置する写真シール機の販売を始めております。写真シール機の販売に際しては、設置だけではなくメンテナンスを含む販売形態であることから、業界内で話題になり引き合いを多数いただいている状況であります。東アジアでは、日本の若者のカルチャーへの人気が高いことから、アミューズメント機器の販売が各国で広がる可能性が期待できると思っております。

**Q** コンシューマー向けの新商品が多く出ていますが、特に注目されているものをご紹介します。

**A** 「MéoBank (ミーオバンク)」など、高機能携帯端末の需要の高まりに対応したソフトやハードを拡充していきます。

**社長**／加賀ハイテック(株)が自社ブランドのTAXANからモバイル・エンターテイメントをコンセプトにした「Méo (ミーオ)」シリーズを展開しております。昨年

10月発売のタブレット端末「MéoPad (ミーオパッド)」、本年9月にワンセグ機能のないスマートフォンでテレビが見られる「MéoTune (ミーオチューン)」がまずまずの売れ行きです。「MéoPad」は個人ユーザーを対象にした製品ですが、B to Bでのお引き合いもいただいております。今後、タブレット端末の需要が高まり、B to Bのビジネスが盛り上がりつつあるのではないかと期待しております。

私自身も大変注目しているのが、本年11月下旬に発売予定の「MéoBank (ミーオバンク)」であります。10月4日から8日まで開催された最先端IT・エレクトロニクス総合展「CEATEC JAPAN 2011」にて発表したところ、大変ご好評をいただきました。これはスマートフォンなどのタブレット端末からワイヤレスで音楽や動画、画像を読み込み／書き込みができる小型のHDDで、「メモリーの容量が少なくデータが蓄積できない」というユーザーの悩みに応えた製品です。また、試験的に博物館で来場者が各所の展示物の情報の入った「MéoBank」からスマートフォンで読み込むという用途で使用してみたところ、大変好評だったと聞いております。「MéoBank」の一つのアプリケーションとして、個人ユーザーだけでなく、美術館や博物館などで採用いただける可能性があるのではないかと期待しております。

**会長**／11月には家庭のテレビを使って楽しめるコンシューマー向けのカラオケ「スマカラ」の販売を予定しており、すでに発売前に多数のご注文をいただくほどの話題の商品であります。今下期の業績に貢献してくれるものと考えております。

今後、一層、スマートフォンやタブレット端末の利用者が増えてくるため、それに向けた様々なソフトやハードを拡充していかなければビジネスチャンスはつかめないと考えております。自社ブランド製品は、他の商材に比べて利益率が高いことから、今後はコン

シューマー向けに自社ブランド製品の開発、生産を行い、商品の強化にも努めてまいります。

**Q** 株主様へのメッセージなどをお願いします。

**A** 新しいことに挑戦し、チャンスを実にビジネスに結びつけ、飛躍成長していきます。

**社長**／今下期も引き続き環境関連ビジネスに注力し拡大すべく、関連人員を増やして強化してまいります。具体的には太陽光発電システムなどの販売ルートを開拓し、ゼネコン、ハウスメーカー、大手工務店まで販路を広げ積極的に営業展開してまいります。また、海外においてローカル企業の開拓に向け、各企業のニーズに合致した商品の開拓がすすんでいて、それを核に布石を打っていきたいと考えております。なお、中間配当につきましては、1株につき15円とさせていただきます、株主の皆様の日頃のご支援に報いたいと考えております。

**会長**／変化の激しいこの業界ですから、我々を含め社員一同、アンテナを広く高く張り、いろいろな情報を世界各地から集めて果敢に新しいことに挑戦し、チャンスを実にビジネスに結びつけ成長してまいります。どうぞご期待ください。

今後とも株主の皆様にご期待・ご支援いただける高成長、高配当企業を目指してまいりますので、引き続きご支援をお願い申し上げます。

平成23年11月



●特集

## コンポーネント ビジネスユニットの海外戦略

現在、加賀電子グループでは、今後、経済成長が期待できる東南アジア諸国・BRICS<sup>(注)</sup>といわれる新興国市場に向けて積極的な展開を目指しています。そこで高師幸男専務取締役コンポーネントビジネスユニット長に、今後の東南アジア地域への進出とBRICS諸国への対応についてうかがいました。

### ●インドネシア、フィリピンへの連絡事務所の開設

当社子会社のKAGA (SINGAPORE) ELECTRONICS PTE. LTD.は、マレーシア、インドネシア、フィリピン



専務取締役コンポーネント  
ビジネスユニット長  
高師 幸男

での営業活動を展開してまいりましたが、インドネシア、フィリピンに連絡事務所を設立することとなりました。インドネシア連絡事務所は、2012年1月に設立予定で、日系企業等既存の取引先をさらに深掘りするとともに、現地ローカル企業の新たな市場を開拓することを目指

しています。フィリピン連絡事務所も年度内には開設する方向で準備を進めております。フィリピンでは日系及びローカル系企業への売り込みを活性化してまいります。

### ●新興国BRICS諸国への進出について

当社は近年ますます経済発展が著しいBRICSでのビジネス展開を重視しています。

今後ロシアは、欧州最大の経済国になることが予測されています。当社としては、着実なビジネスを展開しながらロシア市場の動向を見守っているところです。

ブラジルは、経済成長に目覚ましいものがあり、今後日系メーカー向けの電子部品の販売拠点の確立を目指し、

### 加賀電子グループ 海外への事業展開



(注) Brazil, Russia, India, China, South Africaの頭文字を合わせた総称。

現地の市場状況を調査中です。

また本年7月、インド・バンガロールに現地法人 KAGA DEVICES INDIA PVT.LTD.を設立いたしました。

### ●今後の海外ビジネスの展開について

コンポーネントビジネスユニットとしては、海外マーケットでの事業展開をさらに強化していくために、

BRICS同様、今後期待できるカンボジアやMENA (中東と北アフリカを合わせた市場) にも注目していきます。

当社グループが今後さらに発展していくためには、各ビジネスユニットがそれぞれの役割のもとに海外戦略をより精緻なものに練り直し、全力をあげて現地市場の開拓、商圏の拡大にチャレンジしなければと考えています。

### 基本戦略 加賀電子グループが挑むビジネスユニット制による変革

当社グループは、平成23年4月に組織変更を行い、加賀電子およびグループ各社で展開している事業を、その事業内容ごとにまとめ、より専門性の高い集団とするビジネスユニット経営を導入しました。

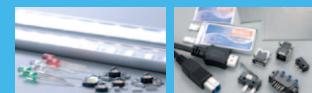
このビジネスユニット経営を実践することで、加賀電子グループとしての経営のスピード化と効率化、さらにはシナジー効果の最大化を目指し、様々な変革にチャレンジを続けてまいります。

### 経営のスピード化と効率化・シナジー効果の発揮を図る

#### コンポーネントBU

電子事業部他が中心となる部品ビジネス

- 戦略
- 大手顧客との関係強化
  - ECO関係市場へのアプローチ
  - 海外生産・海外開発への対応
  - 新興国へのアプローチ



#### マニュファクチャリングBU

EMS事業部他が中心となるメーカー機能を活用したものづくりビジネス

- 戦略
- グループのEDMS受託部門へ製品の設計開発から生産まで自社工場の有効活用



### エレクトロニクス総合商社 加賀電子グループ シナジー効果の追求

#### プロモーションBU

グループ事業戦略室他が中心となるエレクトロニクスから派生した様々なビジネス

- 戦略
- ラインカードの拡充
  - テクニカルサポート体制強化
  - 新ジャンルへの挑戦



#### エンターテインメントBU

特機事業部が中心となるアミューズメント業界向けビジネス

- 戦略
- 恒久的新規商品の提案
  - ソフトウェア企画開発力強化
  - 自社VDPの拡販



#### インフォメーションBU

加賀ハイテック(株)他が中心となる情報機器関連ビジネス

- 戦略
- 流通チャンネルのさらなる拡充
  - 総合ネットワークソリューションサービスの提供



## 【ファイト・スピリッツ】

加賀電子グループは、エレクトロニクス総合商社として、つねにあらゆる可能性にチャレンジしてきました。当第2四半期におけるF.Y.T.精神に基づく様々な取り組みをご紹介します。

### ファイト・スピリッツ #01

#### 加賀ハイテックがMéoシリーズを続々発売

加賀ハイテック(株)は、映画、音楽、インターネットなどの様々なコンテンツが再生できるMID端末「Méopad」を、加賀電子グループの自社ブランド「TAXAN」で昨年10月より発売を開始しておりますが、このたびMéoシリーズと

して5種類7アイテムの機器の発売を発表いたしました。Méoシリーズの発売を通して、拡大するスマートフォンやタブレット型端末のマーケットへ対応してまいります。



## TAXAN Méoシリーズ

**ミーオチューン**  
「MéoTune」

専用アプリ「MéoTV」により、AndroidでもiOSでも無線LAN経由でワンセグ映像/音声を視聴することができるチューナーです。  
(平成23年9月発売開始)



●MéoTune (ミーオチューン)

**ミーオゲート**  
「MéoGate」

ご家庭のテレビで、従来はPCやスマートフォンでなければできなかったWEBブラウジング、WEB動画やSNS閲覧を可能にするアダプタです。  
(平成23年12月発売開始)



●MéoGate (ミーオゲート)

**ミーオバンク**  
「MéoBank」

200GBのHDD・WiFiを搭載した、手のひらサイズのポータブルメディアサーバーです。  
(平成23年11月発売開始)



●MéoBank (ミーオバンク)

**ミーオパッド**  
AndroidOS搭載タブレット  
「MéoPadシリーズ」

著作権保護機能(CPRM)対応モデル、防水モデル、デジタル機能(付属ペンによる手書き入力)搭載モデルなどが続々登場予定です。  
(平成23年12月より順次発売開始)

Android Tablet Series



**ミーオスロット**  
「MéoSlot」

ご家庭のテレビで、SD・USBに保存した様々なフォーマット形式ファイルの再生を可能にするコンパクトメディアプレイヤーです。  
(平成23年11月発売開始)



●MéoSlot (ミーオスロット)

### ファイト・スピリッツ #02

#### マイクロソリューションの山形事業所が完成

平成23年7月、当社連結子会社であるマイクロソリューション(株)が山形県長井市の山形事業所内に建設を進めていた新工場が完成しました。

同社は、電子機器の製造、修理サポート、リユース・リサイクルビジネスを3つの柱に事業を展開しております。これまで3工場に分散していた生産現場を集約することで、生産性や効率性の向上を図ってまいります。



会社概要	
社名	マイクロソリューション株式会社
設立	2002年9月27日
資本金	3億5万円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンピュータ/コンピュータの周辺機器/電子通信機器/精密機器/音響機器/医療機器およびその部品/付属品の企画、開発、製造、仕入販売、保守、修理ならびに輸出入。</li> <li>●上記に関するリサイクル、およびリサイクル品の仕入販売ならびに輸出入。</li> <li>●一般貨物自動車運送業、海上運送業、航空運送業、倉庫業およびそれらの代理業。</li> </ul>

### ファイト・スピリッツ #03

#### CEATEC JAPAN 2011 に出展

加賀ハイテック(株)は、平成23年10月4日から8日まで開催された、最先端IT・エレクトロニクス総合展の「CEATEC JAPAN 2011」に出展いたしました。世界最小・最軽量のWiFi対応のモバイル「MéoBank (ミーオバンク)」や、小型ワイヤレスワンセグチューナー「MéoTune (ミーオチューン)」等を展示し、多くのご来場の皆様に展示やデモンストレーションを通じてご説明をいたしました。



### ファイト・スピリッツ #04

#### 加賀電子グループの節電への取り組み

加賀電子グループは、東日本大震災に伴う政府の節電対策に従い、様々な電気使用量削減のための施策に取り組み、目標である15%の電気使用量の削減を上回る結果を残しました。

##### 【具体的な取り組み内容】

- 蛍光灯の間引きと、不必要な照明の消灯
- 室内空調の利用節減・調整
- クールビズの早期実施 (平成23年5月1日から)  
\*クールビズは、例年9月30日までの期間を10月31日まで延長し、スーパークールビズを6月8日から9月30日まで実施いたしました。
- 昼(12:00から13:00)の消灯、PC等の電源OFFの実施
- サーバールーム、電子機器の電力節減実施 等

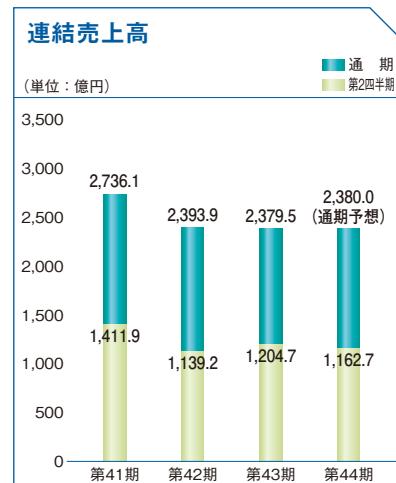
##### 【本社ビルの実績】

- 電力量: 前年同期比 約30%減
- 電気料金: 前年同期比 約1,000万円減

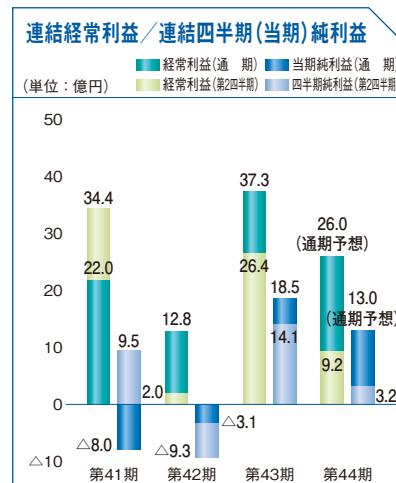
# Financial Highlights

●財務ハイライト

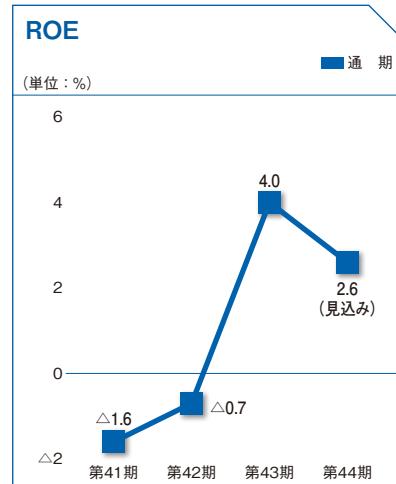
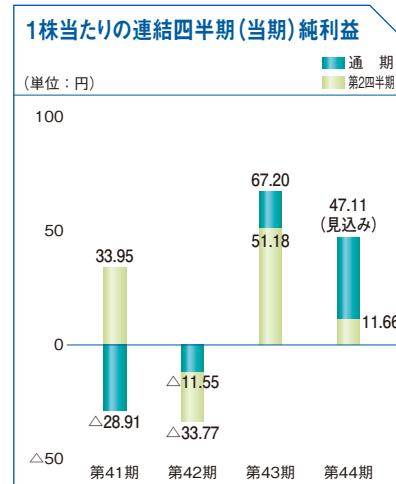
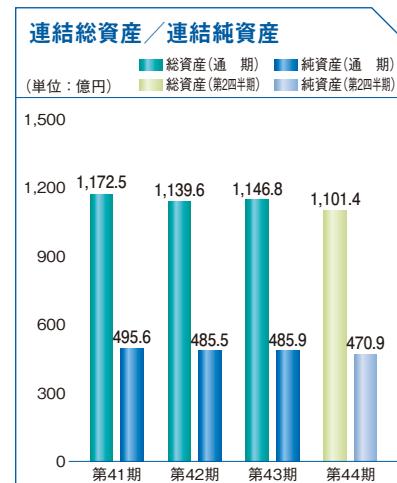
連結売上高 **116,271** 百万円  
(前年同期比3.5%減)



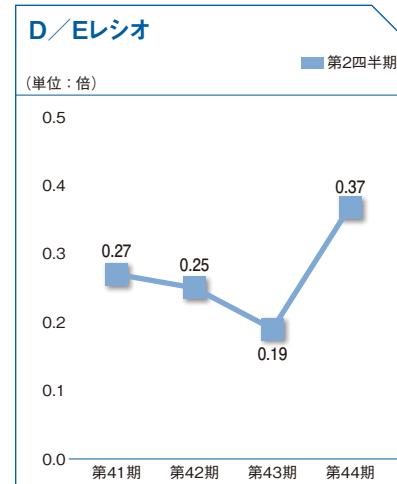
連結経常利益 **929** 百万円  
(前年同期比64.9%減)



連結四半期純利益 **321** 百万円  
(前年同期比77.2%減)



ROE(自己資本利益率)は、株主の皆様への投資を活性化させた結果どのくらい利益を得たのかを示す指標です。  
ROE(%)=当期純利益÷自己資本×100



D/Eレシオ(Debt Equity ratio)は、有利子負債と自己資本の比で、長期の支払い能力を示す指標です。  
D/Eレシオ(倍)=有利子負債÷自己資本

# Consolidated Financial Statements

●財務諸表(連結)

## 四半期連結損益及び包括利益計算書 (単位: 百万円)

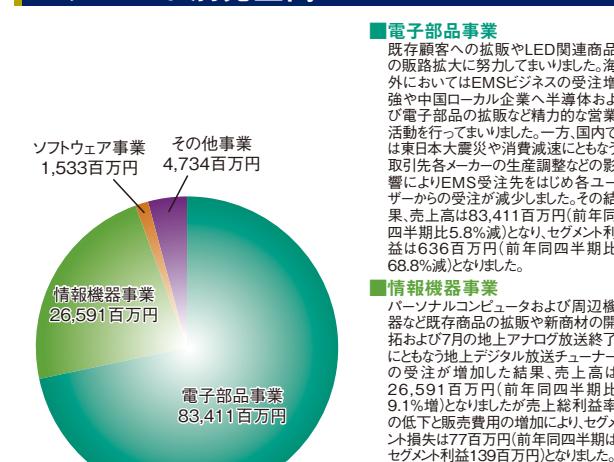
科目	前第2四半期(累計) (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期(累計) (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	120,470	116,271
売上原価	104,410	101,913
売上総利益	16,060	14,357
販売費及び一般管理費	13,465	13,551
営業利益	2,594	805
営業外収益		
受取利息	31	32
受取配当金	35	44
受取手数料	113	105
その他	208	198
営業外収益合計	388	381
営業外費用		
支払利息	50	71
為替差損	219	134
その他	69	51
営業外費用合計	338	257
経常利益	2,644	929
特別利益		
固定資産売却益	1	11
投資有価証券売却益	—	187
受取補償金	140	—
子会社清算に伴う為替換算調整勘定整理益	101	—
その他	—	0
特別利益合計	243	199
特別損失		
固定資産除却損	10	33
投資有価証券評価損	164	75
減損損失	—	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	38	—
ゴルフ会員権評価損	6	19
その他	46	15
特別損失合計	266	148
税金等調整前四半期純利益	2,621	980
法人税、住民税及び事業税	1,084	677
法人税等調整額	104	△48
法人税等合計	1,188	628
少数株主損益調整前四半期純利益	1,432	351
少数株主利益	20	29
四半期純利益	1,412	321
少数株主利益	20	29
少数株主損益調整前四半期純利益	1,432	351
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△208	△567
繰延ヘッジ損益	△33	1
為替換算調整勘定	△902	△744
その他の包括利益合計	△1,143	△1,310
四半期包括利益	288	△958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	275	△989
少数株主に係る四半期包括利益	13	31

(注) 記載金額単位未満の端数については、切捨ての方法で表示しております。

## 当第2四半期(累計)業績の概要

当社グループは、変化の激しいエレクトロニクス業界に対応するため、経営理念である「すべてはお客様のために」を基本として、グループ全体の連携を強めながら、東日本大震災による影響などを、新素材の開拓やLED照明他の環境関連商品および既存取扱商品の拡販により補うべく努力してまいりましたが、第2四半期連結累計期間における売上高は116,271百万円(前年同四半期比3.5%減)、営業利益は805百万円(前年同四半期比68.9%減)、経常利益は929百万円(前年同四半期比64.9%減)となり、また、四半期純利益は321百万円(前年同四半期比77.2%減)となりました。

## セグメント別売上高



■電子部品事業  
既存顧客への拡販やLED関連商品の販路拡大に努力してまいりました。海外においてはEMSビジネスの受注増強や中国ローカル企業へ半導体および電子部品の拡販など精力的な営業活動を行ってまいりました。一方、国内では東日本大震災や消費減速にともなう取引先各メーカーの生産調整などの影響によりEMS受注先をはじめ各ユーザーからの受注が減少しました。その結果、売上高は83,411百万円(前年同四半期比5.8%減)となり、セグメント利益は636百万円(前年同四半期比68.8%減)となりました。

■情報機器事業  
パーソナルコンピュータおよび周辺機器など既存商品の拡販や新素材の開拓および7月の地上アナログ放送終了にともなう地上デジタル放送チューナーの受注が増加した結果、売上高は26,591百万円(前年同四半期比9.1%増)となりましたが売上総利益率の低下と販売費用の増加により、セグメント損失は77百万円(前年同四半期はセグメント利益139百万円)となりました。

■ソフトウェア事業  
アニメーションのCG制作やアミューズメント機器用画像処理の開発やゲームソフトおよびアプリケーションソフトの販売に注力してまいりましたが、開発期間の延長などにより、売上高は1,533百万円(前年同四半期比43.5%減)、セグメント利益は163百万円(前年同四半期比45.4%減)となりました。

■その他事業  
東日本大震災の影響により、ゴルフ用品販売事業の需要減少による不振やリサイクル関連事業などの受注が減少しました。その結果、売上高は4,734百万円(前年同四半期比2.2%減)となり、セグメント利益は142百万円(前年同四半期比31.9%減)となりました。

# Consolidated Financial Statements

●財務諸表（連結）

科目	前期末 (平成23年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成23年9月30日現在)	科目	前期末 (平成23年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成23年9月30日現在)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	92,876	89,827	流動負債	56,987	54,875
現金及び預金	11,926	10,331	支払手形及び買掛金	40,790	36,257
受取手形及び売掛金	54,173	51,883	短期借入金	8,505	12,525
有価証券	71	69	未払法人税等	1,511	861
商品及び製品	15,775	16,126	役員賞与引当金	138	107
仕掛品	555	776	その他	6,041	5,123
原材料及び貯蔵品	3,189	3,597	固定負債	9,099	8,173
繰延税金資産	975	837	長期借入金	4,636	3,729
その他	6,392	6,416	退職給付引当金	1,556	1,576
貸倒引当金	△182	△211	役員退職慰労引当金	1,294	1,340
固定資産	21,810	20,320	資産除去債務	226	225
有形固定資産	9,724	9,445	その他	1,385	1,300
建物及び構築物（純額）	2,494	3,002	負債合計	66,087	63,049
機械装置及び運搬具（純額）	1,601	1,368	<b>純資産の部</b>		
工具、器具及び備品（純額）	1,016	957	株主資本	49,752	49,659
土地	4,099	4,076	資本金	12,133	12,133
建設仮勘定	511	41	資本剰余金	13,912	13,912
無形固定資産	2,599	2,391	利益剰余金	25,038	24,946
のれん	464	353	自己株式	△1,332	△1,332
ソフトウェア	790	743	その他の包括利益累計額	△2,817	△4,129
その他	1,344	1,293	その他有価証券評価差額金	△246	△811
投資その他の資産	9,485	8,483	繰延ヘッジ損益	0	2
投資有価証券	4,493	4,034	為替換算調整勘定	△2,571	△3,320
繰延税金資産	619	566	新株予約権	0	0
その他	6,000	5,654	少数株主持分	1,664	1,567
貸倒引当金	△1,627	△1,772	純資産合計	48,598	47,098
資産合計	114,686	110,147	負債純資産合計	114,686	110,147

(注) 記載金額単位未満の端数については、切捨ての方法で表示しております。

科目	前第2四半期（累計） (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期（累計） (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,591	△2,446
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,563	△1,449
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,024	2,735
現金及び現金同等物に係る換算差額	△351	△383
現金及び現金同等物の増減額	△348	△1,544
現金及び現金同等物の期首残高	11,797	11,796
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,449	10,251

(注) 記載金額単位未満の端数については、切捨ての方法で表示しております。

## 第44期の通期業績見通し

今後の経営環境につきましては、東日本大震災の影響から生産の回復や消費も増加するなど景気は回復の動きを見せられると思われませんが、米国や欧州の経済が減速傾向にある状況に加えて、円高傾向は今後も続くものと想定され、予断を許さない状況が続くものと思われれます。

このような環境の中で、当社グループは、グループ内の連携を強めながらシナジー効果の発揮に努め、既存顧客への拡販や新規商材および商権獲得により業容の拡大をはかってまいります。

《連結業績見通し》

連結売上高	238,000百万円
連結経常利益	2,600百万円
連結当期純利益	1,300百万円

## 配当金のお知らせ

当社は、安定的な長期的視点に立った財務体質と経営基盤の強化に努めるとともに、連結業績を鑑みながら株主の皆様に対する安定かつ継続的な配当の維持を基本方針としております。

当第2四半期末の剰余金の配当につきましては、上記の方針ならびに経営環境を検討した結果、1株当たり15円00銭とさせていただきます。

なお、期末配当金につきましても上記方針に基づき、第2四半期末と同額の15円00銭とさせていただきます、年間30円00銭とさせていただきます予定であります。

# Group Network

●グループ・ネットワーク

**本 社** TEL. 03-4455-3111

**電子事業部**

電子事業部 TEL. 03-4455-3134  
 北関東営業所 TEL. 048-667-3321  
 北陸営業所 TEL. 076-262-0711  
 関西営業所 TEL. 06-6105-0430  
 名古屋営業所 TEL. 052-746-6480  
 新横浜営業所 TEL. 045-473-7321  
 浜松営業所 TEL. 053-457-1661  
 福岡営業所 TEL. 092-282-1140  
 仙台営業所 TEL. 022-722-7410  
 京都営業所 TEL. 075-353-4551  
 新潟営業所 TEL. 0258-38-8351

**海外事業部** TEL. 03-4455-3126

**特販事業部**

特販事業部 TEL. 03-4455-3125

**営業推進事業部**

営業推進事業部 TEL. 03-4455-3124  
 販売促進第四部 TEL. 06-6105-0430

**特機事業部**

特機事業部 TEL. 03-4455-3121  
 特機西日本営業部 TEL. 052-746-6481

**EMS事業部**

EMS事業部 TEL. 03-4455-3120

**技術統括部**

技術統括部 TEL. 03-4455-3128

**Gr事業戦略室**

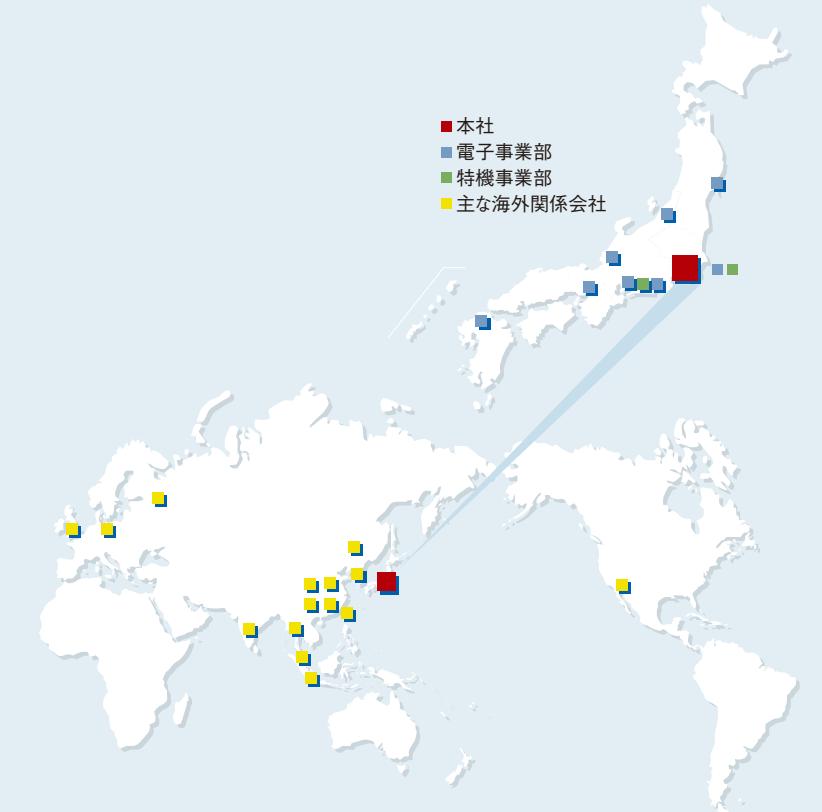
Gr事業戦略室 TEL. 03-4455-3119

**主な国内関係会社**

加賀テック株 TEL. 03-4455-3108  
 加賀デバイス株 TEL. 03-4455-3150  
 加賀ソルネット株 TEL. 03-4455-3100  
 加賀コンポーネント株 TEL. 03-4455-3161  
 株エー・ディー・デバイス TEL. 03-4455-3106  
 加賀クリエイト株 TEL. 03-4455-3157  
 マイクロソリューション株 TEL. 03-4455-3155  
 株デジタルメディアラボ TEL. 03-4455-3104  
 加賀スポーツ株 TEL. 03-4455-3172  
 加賀ハイテック株 TEL. 03-4455-3188  
 加賀アミューズメント株 TEL. 03-4455-3182  
 株ワークビット TEL. 046-261-3228  
 株エスアイエレクトロニクス TEL. 03-4455-3270  
 エー・ディー・エム株 TEL. 06-6244-2701  
 株サイバークロント TEL. 03-5718-6370

**主な海外関係会社**

KAGA (H.K.) ELECTRONICS LTD. KAGA DEVICES (H.K.) LTD.  
 KAGA (SINGAPORE) ELECTRONICS PTE. LTD. KAGA ELECTRONICS (USA) INC.  
 KAGA (KOREA) ELECTRONICS CO., LTD. 加賀電子(大連)有限公司  
 KAGA (TAIWAN) ELECTRONICS CO., LTD. KAGA (EUROPE) ELECTRONICS LTD.  
 加賀電子(上海)有限公司



# Stock Information & Corporate Data

●株式の状況/会社概要 (平成23年9月30日現在)

**株式の状況**

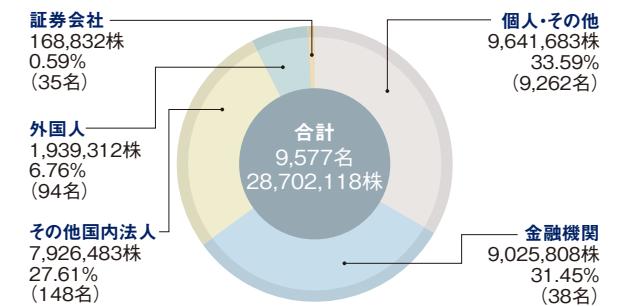
発行可能株式総数 …………… 80,000,000株  
 発行済株式総数 …………… 28,702,118株  
 単元株式数 …………… 100株  
 株主数 …………… 9,577名

**大株主の状況 (上位10名)**

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,378	11.77
株式会社OKOZE	1,690	5.89
株式会社三共	1,574	5.49
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,182	4.12
加賀電子従業員持株会	1,105	3.85
資産管理サービス信託銀行株式会社	1,090	3.80
株式会社みずほ銀行	950	3.31
塚本 勲	796	2.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	762	2.66
日本生命保険相互会社	535	1.86

(注) 1. 所有株式数は千株未満を切捨てて記載しております。  
 2. 上記のほか、自己株式が1,104千株あります。  
 3. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社、資産管理サービス信託銀行株式会社および日本マスタートラスト信託銀行株式会社の持株数は、信託業務によるものであります。

**所有者別株式分布状況**



**会社概要**

設 立 昭和43年9月12日  
 資 本 金 121億3,354万円  
 従 業 員 数 634名 (男448名・女186名)  
 平均年齢 36.5歳 (男38.8歳・女30.8歳)  
 事業の内容 当社は、電子機器用エレクトロニクス部品の企画、開発、製造、仕入販売、コンピュータおよび周辺機器・関連部品・付属品・ソフトウェアなどの仕入販売ならびに輸出入を主な業務とし、これに付帯する業務も営んでおります。

**役 員**

代表取締役会長 塚 本 勲  
 代表取締役社長 塚 本 外茂久  
 専務取締役 門 良 一  
 専務取締役 下 山 和 一 郎  
 専務取締役 山 名 和 夫  
 専務取締役 高 橋 信 佐  
 専務取締役 高 師 幸 男  
 常務取締役 筧 新 太 郎  
 常勤監査役 石 川 正 弘  
 常勤監査役 隅 野 起 久 夫  
 監 査 役 佐 瀬 正 俊  
 監 査 役 田 中 雄 一 郎